



# ならっ子だより



5月21日の金環日食に続き、今年には他にもいくつかの不思議な天文現象が起こります。

この夏、奈良の夜空で体験できる天文現象をご紹介します。夜間の観察の際には、安全を第一に考え、必ず大人の人と一緒に観察してね。



## この夏の不思議な天文現象

毎日、夜空を見上げてみると、さまざまなことに気付きます。

- 日によって月の形が変わって見える
- 同じ時刻でも月の位置が少しずつ変化している
- 夜空に広がるたくさんの星も季節や時刻によって見える位置が変わる など

考えてみると不思議なことばかりです。

この夏、奈良の夜空でも、地球に一番近い天体である月がみせる何十年に一度という珍しい天文現象を観察することができます。

はぐくみセンター  
(三条本町)のプラネタリウムでは、今年起る話題の天体ショーを体験！また、月食や金星食の様子も満天の星空とともに楽しむことができるよ。  
みんな、来てね！



### 6月4日(月)「部分月食」【時間とともに形が変わる満月】

突然ですが質問です。満月はどのような形でしょう？

「まん丸」を思い浮かべた人も多いことでしょう。しかし、6月4日、東の空に昇ってくる満月は時間とともに形が変わります。そして、夜の9時過ぎには丸い満月にもどります。太陽と地球と月が一直線上に並び、月が完全に地球の影に入る現象を「皆既月食」といいますが、この日に見られる月食は、月の一部分が地球の影に入る現象なので「部分月食」と呼びます。



資料提供：アストロアーツ



資料提供：アストロアーツ



### 8月14日(火)「金星食」【月の横に明るい星が出現】

金星が月の裏側に隠れて地球から見えなくなることを金星食といいます。とても珍しい現象で、前回は23年前(1989年12月2日)、次に見られるのは51年後(2063年5月31日)になります。今回、奈良市では、真夜中の2時半頃～3時半頃に金星が月に隠れて、また現れるところを観察できます。

今回の見どころは、東の空に昇ってくる月の横に、突然、明るい星が現れるところです。日食とは違い、特別な道具を使わずに観察することも魅力です。

## 学校紹介

六条小学校の巻



「ごめんね！こは、駐車禁止です。子どもたちの安全のため協力ください。」

通学路の途中に、駐車禁止の協力を呼びかけるコーンに貼られた紙に書かれているコメントの一つです。保護者や地域の方々に見守られながら、830人近くの子どもたちが登下校しています。

また、「子どもたちの笑顔を見たいから。」と、竹馬やお手玉、けん玉などの遊び道具を使い、子どもたちと一緒に遊んでくださる地域の方々、本の読み聞かせ活動・本の修理などを通して、読書活動を支えてくださるボランティアの方々もいらつしやいます。

六条小学校は地域の方々のご支援・ご協力をいただきながら、「夢をもち心豊かにたくましく生きる子どもの育成」を教育目標にかかげています。子どもたちにとってよりよいものを届けるため、「チーム六条」を合言葉に、48人の教職員が今日も教育活動に取り組んでいます。



六条小学校は地域の方々のご支援・ご協力をいただきながら、「夢をもち心豊かにたくましく生きる子どもの育成」を教育目標にかかげています。子どもたちにとってよりよいものを届けるため、「チーム六条」を合言葉に、48人の教職員が今日も教育活動に取り組んでいます。